

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y010	現代社会と女性	玉島 健二	1年次通年・2 年次前期	2年間で15回の授業です。この科目は、卒業後に社会人となる皆さんに、社会人として必要な基本的素養及び学生生活を送る上で必要な基礎を学んでもらうために開設しています。学生の皆さんには多面的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいと願っています。	現代に生きる女性に必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける 命と人権を考え、お互いを大切にすることと行動力を身に付ける 仕事や職業について理解し、人としての生きる力を身に付ける	◎	◎	△	◎	◎	○
20Y020	マナー学	江頭 万里子	1年次後期	社会人としての基本的なマナーを身に付ける	マナーとは何かを知り、マナーの大切さを理解する 礼儀正しい立ち居振舞いができる 職場におけるコミュニケーションの知識を身に付ける 慶事・吊事における基本的なマナーを身につける 日常生活においてマナーを心掛けることができる	◎		◎			△
20Y030	生活と音楽	中澤 伸元	1年次後期	社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。 音楽の基礎、楽典、音楽の必要性について学ぶ。 歌うこととハーモニー訓練。	一般教養としての楽典などの音楽知識 楽譜の理解と興味関心度を高める 声には人柄、知性が含まれている。声は意識次第でどうにでもなる。過去意識現在意識未来意とのつながる感覚を身に付ける。 生活におけるリズム感覚を学ぶ。拍子2. 3. 4. 6. 9. 12拍子の感覚を身に付ける。 表現する楽しさと喜び、自分らしさを身に付ける。	○	○	○	○	○	○
20Y040	長崎観光入門	玉島 健二	2年次前期	独自の歴史と文化を有する長崎市に所在する短期大学に学ぶ者として、また、卒業後に観光県長崎で勤務する社会人として、必要な素養を身に付ける。	長崎の歴史・文化・産業・経済等についての理解を深める 1. に関する事項を県外等からの来訪者に説明できる力を養う 社会人として必要な知識、技能、態度を身に付ける	◎	○	◎	○	○	○
20Y060	ヒトと生物	松尾 公則	2年次前期	ヒトは地球生態系の中の一員であり、他の動物や植物との連携なしには生きていくことはできません。「ヒトと生物」では、身近な動物を通じて、生態系のことを学びます。	身近な動物の生態を知ることで、生物について学ぶ楽しさを確認する。 ヒトと野生動物の関わりを知ることで、自然との付き合い方を知る。 ヒトは地球生態系の中の一員として生き続けていることを認識する。	△	◎	◎	○	△	△

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)						
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力		
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力	
20Y080	日本国憲法	太田 久美子	2年次後期	日本国憲法の基本的事項について理解し、「権利」とは何か、なぜ権利を護らなければならないのか等ということについて、自らの力で考える力を養うことを目指します。	憲法の用語の正しい理解から、その理念を把握する。 権利と義務の関係を理解し、適切な権利行使を可能にする。 権利と義務を理解し、弱者や価値観の違いを受容する土台を作る。 憲法(法律)によって裏付けられた世の中の仕組みを理解する。		○		◎	○		
20Y090	体育講義	宮崎 美保	1年次後期	スポーツ活動が体力の向上や健康維持、増進に及ぼす効果を理解し、生涯にわたって実践していこうとする意識を育てる。	自分の健康は自分で守るという意識を持ち、健康に関する正しい知識を習得する。 健康を阻害する要因について理解する。 これからの健康生活プランを立てることができる。	○		○	○	○		
20Y110	生活と書	北山 千代子	2年次後期	書の歴史・理論・技法・鑑賞・表現などを考究する。	文字の歴史を学ぶことによって、伝統文化としての「書」の存在意識を理解する。 「美しい文字」を鑑賞・練習することによって、感性を高め技法の上達にも努める。 朝日新聞「天声人語」等によって、読み・書き・話す能力を高める。 静聴できる態度(心構え・習慣)を体得する。	○	△	◎	◎	○	○	
20Y120	情報科学	織田 芳人	1年次後期	保育分野におけるパソコンの活用法について理解を深め、必要に応じて利用できる	パソコンを利用して園だよりなどの文書作成ができる パソコンを利用してプレゼンテーションができる インターネット活用と情報モラルを理解する				◎	◎		○
20Y130	体育実技	宮崎 美保	1年次通年	学生生活における自らの健康・体力の維持増進を図るとともに、生涯に渡るスポーツとのかかわり方を学ぶ。加えて、様々な競技を通して、協調性、計画性、コミュニケーション能力の向上を目指す。	スポーツに関する知識を深めるとともに技能を高め、人と関わりながらスポーツの楽しさを味わうことができる。 心と体の健康づくりのため、自分なりの運動を実践できる。 協力、責任、参画などに対する意欲を高め、生涯におけるスポーツライフを構想できる。			○	○	○	○	

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y140	英語	奈良 望	2年次通年	英語で書かれた情報に接することによって、情報獲得の手段としての英語に慣れる。それぞれのコースにかかわりのある内容の教材を用い、その要旨を掴むことで異文化理解を深める。また、オーラルの要素も導入して、毎回会話の練習にも挑戦してもらう。	英語で書かれた環境に触れることに慣れる。 日本語による解説を通して要旨を掴む習慣をつける。 日本語及び英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。 海外事情を知ること、視野を広げる。	○		○		○	
20Y310	子どもと健康(体育)	蛸原 正貴	1年次前期	領域「健康」のねらい及び内容について理解するとともに、幼児の具体的な活動の仕方や行動を想定して保育を構想し、実践する。	領域「健康」に関するねらい、内容について理解している。 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解している。 乳幼児期の安全な生活と怪我や病気の予防について説明できる。 危険に関し安全管理の方法を理解している。 乳幼児期の日常生活における身体活動の在り方を説明できる。			○	◎	○	◎
20Y320	子どもと健康(保健)(未満児)	光武 きよみ	1年次後期	乳幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活などの知識を学習する。	乳幼児期の健康の定義と意義、課題について説明できる。 保育所保育指針の健康や安全についての項目を説明できる。 乳幼児期の発達の特徴を理解し、基本的な生活習慣の流れが説明できる。 乳幼児期の安全教育・健康管理の考え方を理解し、その方法を説明できる。 乳幼児期の日常生活における身体活動の在り方を説明できる。			◎	◎	◎	○

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y330	子どもと健康(保健)(以上児)	光武 きよみ	1年次後期	幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活などの知識を学習する。	乳幼児期の健康の定義と意義、課題について説明できる。						
					幼稚園指導要領の領域「健康」について説明できる。						
					乳幼児期の発達の特徴を理解し、基本的な生活習慣の流れが説明できる。		◎	◎	◎		○
					乳幼児期の安全教育・健康管理の考え方を理解し、その方法を説明できる。						
				乳幼児期の日常生活における身体活動の在り方を説明できる。							
20Y340	子どもと人間関係	福井 謙一郎	1年次前期	子どもが他の人々と関わりながらどのように発達していくのか学ぶことを通して、保育者としての子どもとの関わり方を身につけることを本講義の主題とする。	幼稚園教育要領領域「人間関係」要点を理解する						
					保育における人との関わりの大切さを理解する	◎	◎	○	◎	◎	◎
					子どもの社会性を育てるために必要な知識や技能を身につける						
20Y350	子どもと環境	本村 弥寿子	1年次前期	領域「環境」の指導に関連する、乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。	乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児の発達にとっての意義を理解する。						
					乳幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。		◎	◎	○		
					乳幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりを発達を理解する。						
20Y360	子どもと言葉	船勢 肇	1年次前期	幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、様々な周囲の環境に関わりを深めていく上で必要な専門的事項を身につける。	言葉の意義や機能を理解する。						
					言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解する。	◎	△	◎	◎	△	△
					児童文化財について理解する。						

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 判 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y370	子どもと表現(音楽)	白石 景一	1年次前期	当該科目では、領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊び(特に音楽に関する)と、その環境構成などの専門的事項についての知識・技能を身につける。	乳幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置づけについて要領・指針を基に説明できる。 表現を生成する過程について理解している。 幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。 協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。 様々な音楽的表現の基礎的な知識技能を生かし、幼児の表現活動に展開させることができる。			◎	◎		
20Y380	子どもと表現(造形)	山中 慶子	1年次前期	幼児の造形表現の理解と保育内容の研究	表現することの楽しさを実感しながら様々な造形活動を行うことができる 材料・用具・技法の扱い方を理解し、適切に用いることができる 協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる 幼稚園教育要領に示された方法及び内容を実践的に理解する	○	○	○	○		
20Y390	保育内容総論	本村 弥寿子	1年次前期	乳幼児期の教育は、園生活全体を通して総合的になされるといふ考え方を理解し、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら、環境を構成し実践するために必要な知識・技能を身に付ける。	乳幼児期の教育における見方・考え方について理解する。 保育における指導計画や評価の考え方を理解する。 乳幼児の興味・関心や発達の実情に応じた具体的な指導の仕方を理解する。	○	◎	◎	◎		
20Y400	領域「健康」の指導法	蛭原 正貴	1年次後期	乳幼児の心身の発達を中心として、生活習慣、疾病、運動などに関わる専門的知識及び安全管理について理解する。	幼稚園教育要領及び保育所保育指針について理解している。 乳幼児の健康に関する内容及び小学校の教科等との繋がりを理解している。 乳幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想ができる。 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付ける。 領域「健康」に関連した現代的課題を知り、保育構想の向上に繋がられる。		○	◎	○	◎	○

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y410	領域「人間関係」の指導法	福井 謙一郎	2年次前期	領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解し、保育内容の指導法および保育を構想し、実践する。	領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している	◎	◎	◎	◎	○	◎
					領域「人間関係」にかかわる幼児の経験と小学校の連携を意識する						
					模擬保育とその振り返りを通して、保育改善を行う						
					領域「人間関係」の特性に応じた現代的課題を理解する						
20Y420	領域「環境」の指導法	本村 弥寿子	1年次後期	領域「環境」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想する方法を身に付ける。	領域「環境」のねらい及び内容を理解する。	◎	○	◎	◎	○	
					領域「環境」に関わる様々な体験と、小学校以降の教科等のつながりを理解する。						
					乳幼児期の心情、認識、思考及び動き等を考慮した保育を構想する。						
					模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付ける。						
20Y430	領域「言葉」の指導法	船勢 肇	1年次後期	子どものことばの獲得方法、発達、およびそのための援助の仕方について学習する。	領域「言葉」の内容を理解する。	○	◎	◎	◎	○	○
					子どもの言葉の発達を理解する。						
					言葉の発達を促す保育環境の重要性を理解する。						
					言葉の発達を促す援助について考察する。						
20Y440	領域「表現」の指導法	織田 芳人 本村 弥寿子	1年次後期	領域「表現」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想する力を身に付ける。	領域「表現」のねらい及び内容を理解する。	◎	○	◎	◎	○	
					領域「表現」に関わる様々な経験と、小学校以降の教科等のつながりを理解する。						
					乳幼児の心情、認識、思考及び動き等を考慮した保育を構想する。						
					模擬保育とその振り返りを通して保育を改善する視点を身に付ける。						
					領域「表現」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を踏まえ、保育を構想する。						

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y450	教育原理(教育史を含む)	船勢 肇	1年次前期	教育とはどのような営みであるのかを歴史的、思想的な理解を土台とし、現代の学校教育に関する社会的・制度的理解を深め、学校教育が抱える課題について考察する。また、学校と地域社会とのつながり、学校安全について理解する。	教育の基本的概念への理解を深め、教育とはどのようなものかを考察する。 教育の歴史の変遷、思想的背景を理解する。 教育制度の意義・原理・構造について理解し、その課題について考察する。 学校と地域社会とのつながりについて理解する。 学校安全とその具体的な取り組みについて理解する。	△	△	◎	◎	△	△
20Y460	保育者論	船勢 肇	2年次後期	高度化・多様化する現代の教職を踏まえ、教師の役割・職務内容への理解を深め、教師に求められる資質・能力とはどのようなものかを考察する。	幼児教育とその教職の社会的意義を理解する。 今日の教師に求められる役割や資質・能力について理解する。 教師に課せられる社会的責任、職務上の責務を理解する。 教師の専門性と多様な専門職との連携について理解し、考察する。 教職に就くとはどのようなことか考察する。	◎	○	○	◎	◎	○
20Y470	発達心理学	福井 謙一郎	1年次前期	子どもの発達や保育に関する心理学の知識を身につけ、人間が生涯にわたって発達することを知り、大きな視野に基づく子どもへの理解を深めることを本講義の主題とする。	子どもの心身の発達がどのように生じるのか理解する。 保育に関する心理学の基本的な知識を身につける。 子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識を身につける。 人間が生涯にわたって発達することを理解する。	◎	△	◎	△	○	○

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y480	特別な教育的ニーズの理解とその支援	島田 幸一郎	2年次通年	特別な支援の必要性や教育・保育的ニーズのある子どもが、生きる力を身に付けていけるよう、学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育・保育的ニーズに対して、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。	特別な支援を必要とする子どもの心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解する。 障がいのある子どもの学習上または生活上の困難について基礎的な知識を身に付ける。 特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法について例示することができる。 個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 特別な教育的ニーズのある子どもの支援において、関係機関との連携の必要性を理解する。	◎	○	◎	○	◎	○
20Y490	カリキュラム論	本村 弥寿子	1年次後期	教育課程・全体的な計画を基にして指導計画を作成し、保育内容や指導援助のあり方について学ぶ。	教育課程や全体的な計画の役割や意義を理解する。 教育課程や全体的な計画編成の基本原則、保育実践に即した編成の方法を理解する。 計画全体をマネジメントする意義を理解する。		○	◎	◎	○	
20Y500	保育方法論	織田 芳人 本村 弥寿子	2年次前期	保育の基本及び幼児教育に基づいた保育の方法について学習する。	乳幼児期に育みたい資質・能力を育成するための保育の方法を理解する。 乳幼児教育の目的に適した指導技術を理解し身に付ける。 保育に適切な教材の作成・活用や情報機器の利用に関する基礎的な能力を身に付ける。		○	◎	○	○	
20Y510	教育相談(幼児のカウンセリング理論を含む)	福井 謙一郎	2年次前期	子どもや保護者の心理的背景を理解するために必要な知識ならびにカウンセリングマインドについて修得する。	行動科学の観点から人の心を捉えることができる 子どもの実態を把握するための方法について理解する 子どもや保護者を支援するためのカウンセリングマインドを理解する 精神的・発達的な障害の概要について理解する	◎	◎	◎	○	○	◎



令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y520	子どもの歌と伴奏法	中村 浩美 福井 昭史 内田 誠 鵜川 佐由美 大野 陽子 寺谷 陽子 中嶋 浜子 宮崎 洋子 村川 千佳 村田 実智代 山浦 直子 吉田 智子	1年次通年	保育現場における音楽基礎技能を、ピアノの個人レッスンとグループでのコード伴奏法などで習得する。	保育現場で必要な音楽の理論やソルフェージュ能力の基礎を親につける。 バイエル教則本を修得することにより子どもの歌の伴奏法を身につける。 幼稚園教育要領の基本、ねらいをふまえて、保育現場で必要な生活・季節の弾き歌いを修得する。 簡易伴奏法(コード伴奏法の基礎)を習得する。 保育現場でよく歌われている子どもの歌を楽しく歌えるようになる。	○	○	◎	◎	◎	○
20Y530	保育と音楽表現	中村 浩美 福井 昭史 内田 誠 鵜川 佐由美 大野 陽子 中嶋 浜子 宮崎 洋子 村川 千佳 村田 実智代 吉田 智子	2年次通年	音楽の幅広い感性・知識・技能を育成し、音楽を通じて保育を実践する上で、音楽の理解・知識・技術を持って保育の様々な場面で適切に展開できる素養を身につける。	ピアノの基礎技能を習得し、保育現場での「生活の歌」の弾き歌いを音楽的に表現できる。 「季節の歌」や様々な「子どもの歌」の伴奏や弾き歌いを子どもが歌いやすいよう配慮して演奏できる。 笑顔で子どもにわかりやすく手遊び歌ができる。 ピアノ連弾を体験し、アンサンブルの基礎を学ぶ。 表情豊かに明るく楽しく歌うことができる。	◎	◎	◎	◎	◎	○
20Y540	保育原理	船勢 肇	1年次前期	保育の意義や内容、思想、歴史、制度などの基礎知識を学び、保育の現状を考察する。	保育の基礎知識を理解する 保育思想を理解する 保育制度を理解する 保育に必要な環境を理解し、考察する	△	△	◎	◎	△	△

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y550	乳児保育	光武 きよみ	1年次通年	3歳児未満児の成長発達、生活を理解し、援助方法について学ぶ	乳児保育の理念と歴史の変遷および役割について学び、意見を述べる ことができる 保育所・乳児院などにおける乳児保育の現状と課題について述べるこ とができる 3歳児未満の成長発達について学び、健やかな成長を支える生活と遊 びについて説明できる 乳児保育の計画立案に関する保育内容や方法、環境構成や観察・記録 等について、概要を述べる 乳児保育における保育者や関係機関との連携について述べるこ とができる	○		◎		○	◎
20Y560	社会福祉	荒木 正平	2年次後期	児童福祉の専門職として、社会福祉の理念や法制度、相談援助技術の考え方等を学び、福祉の基本的な知識・姿勢を修得する。	社会福祉の基本的な考え方と歴史、その役割を理解する。 社会保障・社会福祉に関する制度の概要を理解する。 相談援助(ソーシャルワーク)の意味と方法について、基礎的理解を深める。	○		◎	○		
20Y570	児童家庭福祉	長尾 久美子	1年次前期	児童福祉法制度や児童福祉の歴史、保育士資格の内容など、児童福祉の専門職として必要な基本的な知識や倫理などを修得する。 保育士資格の根拠法である児童福祉法の理念を理解し、実践につなげることができる。	児童福祉の目的や歴史を理解する。 児童福祉法及び関連法制度を理解する。 児童福祉の専門職としての保育士の役割を理解する。	○		◎	◎	○	
20Y580	社会的養護	荒木 正平	1年次前期	社会的養護と呼ばれるサービスについての概要を理解する。 また社会的養護の対象となる子どもの処遇について、支援の理論や方法に関する基礎的理解を深める。	子どもの権利思想の歴史と背景を理解する。 社会的養護の意義と体系を理解する。 社会的養護に関わる子どもの実情と課題を理解する。	◎	△	◎	○		

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)						
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力		
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力	
20Y590	子どもと保健	齋藤 充子	2年次後期	子どもの健康・安全と子どもを取り巻く保育環境を理解し、健全な成長と発達を支援するための保健活動を学ぶ。さらに、保育者に必要とされる子どもの発育・健康にかかわる諸問題の追究及び起こりやすい疾病や事故の予防・対応について修得する。	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について説明できる。 保育における衛生管理及び安全管理について具体的に説明できる。 子どもの体調不良への対処、また、緊急時の対応について述べるができる。 子どもの健康や安全を含めた保健活動に関して、その計画と評価について発表できる。 子どもの健康管理や安全管理について、家庭・地域・関連専門機関との連携の在り方及び組織的取り組みについて説明できる。		○	◎	○			◎
20Y600	子ども家庭支援論	荒木 正平	1年次後期	子育て家庭の現状についての理解を深めることで、保育者という立場から、子育て家庭の支援に積極的にかかわることの意義と重要性を認識できる。	子どもの育ちにおける家庭の意義と機能について理解する。 子育て家庭の現状や、それを取り巻く社会状況を理解する。 子育て家庭を支援する制度や社会的資源を理解する。 子育て家庭支援における、保育士としての役割を認識する。	○	○	◎	○			
20Y610	子どもの食と栄養	桑原 倫子 太田 美代	2年次通年	乳幼児期の発育・発達と栄養の関係を理解し、食べ方・食環境及び食育について学ぶ。また、調理実習・食育の模擬授業等を通して、実際の保育に役立つ実践力を身につけ、特別な配慮を要する子どもや、保護者への支援あり方など、個別の課題についても学ぶ。	健康な生活の基本としての食生活、食品の基礎知識を学ぶ。 子どもの発育・発達段階に応じた栄養や食生活の意義を理解する。 子どもの献立作成や調理方法及び与え方について理解し、身につける。 子どもの発育・発達と食育の必要性や食育計画について理解する。 保護者及び特別な配慮を要する子どもの食生活支援の実践力を身につける。	○		◎	○			
20Y620	子どもの理解と援助	福井 謙一郎	2年次後期	本講義の主題は、「発達心理学」の内容を踏まえ、子どもの発達と学習をどのように援助すべきか、その具体的な方法を身につけることである。	子どもの発達と学習について理解する 子どもの発達過程に応じた関わり方の必要性を理解する 子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識や技能を身につける	◎	○	○	◎	◎	○	

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y630	運動遊びの実践(指導法)	蛸原 正貴 高橋 秀樹	1年次後期・2 年次前期	幼児の運動遊びの指導の計画、実践、評価の方法について学び、指導力を身に付ける。	表現遊び、運動遊び指導計画の立て方を理解する。 幼児の発達段階に応じた表現遊び、運動遊びの指導法について理解する。 表現遊び、運動遊びの一斉保育を展開できる。 表現遊び、運動遊びの指導に必要な技能を身につける。			◎	◎	○	○
20Y640	子どもの絵と製作(指導法)	山中 慶子	1年次後期・2 年次前期	幼児の豊かな感性や表現意欲を育むための適切な援助や指導ができる 能力の涵養と保育内容の研究	材料や用具、技法の扱い方を習熟し、自身の作品制作に活かすことができる 幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解できる 幼稚園教育要領、保育所保育指針の基本・ねらい及び内容をふまえる視点をもって保育を計画し、省察することができる	○	○	○	○		
20Y650	遊びの文化(指導法)	本村 弥寿子 山中 慶子	1年次前期	児童文化について学び、基礎技能を修得する。	児童文化・児童文化財について理解する。 子どもの発達に応じた児童文化・児童文化財を理解する。 児童文化財の保育への展開方法を理解する。	△	◎	◎	◎	○	○
20Y660	子どもと玩具	織田 芳人	2年次前期	子どもの学びや成長に役立つ玩具について理解を深め、子どもが手作りできるおもちゃの製作に必要な材料や用具、技法を修得する。	保育に役立つ玩具について理解する。 子どもによる手作りおもちゃの製作に必要な技法に基づいて、材料や用具を適切に扱うことができる。 おもちゃ製作に関する保育指導案を構想することができる。		△	◎	◎	○	
20Y670	社会的養護内容	荒木 正平	1年次後期	社会的養護サービスにおける処遇の実際の内容を理解し、保育士としての基本的知識・姿勢を身につける。	社会的養護サービスの具体的な援助内容について、基礎的な理解を深める。 子どもの発達段階や特性に応じた対応の必要性を理解する。 社会的養護の実践において、他職種と協力することの意義を理解する。 保育者として、子どもと共に学び続ける姿勢の大切さを理解する。	○	◎	◎	○	◎	

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y680	相談援助	荒木 正平	2年次前期	保育と相談援助のかかわりや必要性を理解し、保護者・子どもへの相談援助・支援の基礎を身につける。	保育士として相談援助にかかわることの必要性を理解する。 相談援助の考え方やその視点、援助の進め方などの基礎を理解する。 自己の意見を明確にしつつ他者の意見にも耳を傾け、協力して課題に取り組む姿勢を身につける。 子育て支援に関わるさまざまな社会資源を学び、連携の有用性を理解する。	○	◎	○	◎	○	
20Y690	保育相談支援	福井 謙一郎	2年次後期	保護者に対する相談支援の内容と方法を理解する。	保育相談支援の意義と原則が分かる 保護者支援の基本を理解する 保育相談支援の内容・方法が分かる 幼稚園、保育園、児童福祉施設の保護者支援の実践について理解する	◎	◎	○	◎	◎	◎
20Y700	子どもの保健演習	南條 恵	2年次前期	3歳未満児の心身の発達過程や特性を確認し、保育における保育者の援助や関わりの基本について学ぶ。	3歳未満児の発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解している。 3歳未満児の子どもの生活と遊びについて、保育方法、内容、環境を理解している。 3歳未満児保育における配慮の実践について理解している。 3歳未満児保育における計画の作成と実践について理解している。	◎	○	◎	◎	○	◎
20Y710	保育実習指導 I	荒木 正平 織田 芳人 中村 浩美 本村 弥寿子 福井 謙一郎 南條 恵 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	1年次・2年次 通年	保育実習の意義・目的・内容・姿勢を理解し、実習計画、実践、記録、評価の方法や内容について学習する。また実習における自己課題を明確にし、実習後の自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする	保育実習の意義や目的、実習施設について理解できる 保育実習の計画や記録方法について理解できる 自分の自己課題を明確にできる 自己課題の解決に向けて計画・実行できる	◎	○	○	◎	○	◎

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y720	保育実習Ⅰ	荒木 正平 織田 芳人 中村 浩美 本村 弥寿子 福井 謙一郎 南條 恵 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	1年次後期・2 年次前期	大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どものかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する						
					保育所・施設の概要や1日の流れを理解する	◎	○	◎	○	◎	○
					子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める						
					保育者の仕事と役割について把握し、理解する						
20Y730	保育実習指導Ⅱ	中村 浩美 織田 芳人 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 南條 恵 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	2年次通年	保育実習の意義・目的・内容・姿勢を理解し、実習計画、実践、記録、評価の方法や内容について、保育実習Ⅰの内容を踏まえて学習する。また実習における自己課題を明確にし、実習後の自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。	保育実習の意義や目的、実習施設について理解する						
					保育実習の計画や記録方法について理解する	○	◎	○	◎	◎	◎
					自分の自己課題を明確にする						
					自己課題の解決に向けて計画・実行する						
20Y740	保育実習Ⅱ	中村 浩美 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 南條 恵 織田 芳人 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	2年次通年	保育実習Ⅰをふまえ、子どもの観察や関わりを視点を明確にし、実践することを通して保育の理解を深める。保育所における子どもの保育および保護者の支援について総合的に学び、保育士としての自己の課題を明確にする。	保育の方法や技術を実践しながら習得する						
					責任を持ち、見通しをつけながら、仕事をする事ができる						
					自分の課題を見つけ、保育実践に活かすことができる	◎	◎	◎	◎	◎	◎
					子育てにおける保護者との連携の重要性を理解する						
					保育者を目指す者として、今後の学習課題を明確にする						

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y750	保育実習Ⅲ	島田 幸一郎	2年次通年	保育実習Ⅰを踏まえ、家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深める。その上で、児童福祉施設(保育所以外)における家庭支援のための知識・技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。	子どもや利用者への支援の方法・技術を実践する。 施設の地域社会における役割と機能を理解する。 家族関係の調整・保護者支援の現状を知る。 異なる職種との連携・協働の重要性を理解する。	◎	◎	◎	○	◎	○
20Y760	保育実習指導Ⅲ	島田 幸一郎 織田 芳人 中村 浩美 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 南條 恵 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	2年次通年	保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設(保育所以外)における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。	子どもの観察や関わりの視点を持つことができる。 保育技術を高めることができる。 保育士としての自己課題を明確にできる。	◎	◎	◎	○	◎	○
20Y770	教育実習(事前・事後指導1単位含む)(幼)	本村 弥寿子 織田 芳人 福井 昭史 中村 浩美 島田 幸一郎 荒木 正平 福井 謙一郎 南條 恵 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	2年次通年	大学で修得した内容をふまえ、幼稚園の役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、教諭の業務内容や職業倫理、保護者支援について総合的に学ぶ。	幼稚園の社会的役割や具体的活動などを理解する。 幼稚園の概要や一日の流れを把握する。 子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める。 保育者の仕事と役割について把握し、理解する。 保育の方法や技術を実践しながら修得する。	○	◎	◎	◎	◎	◎

令和2年度入学生 幼児教育学科 カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
20Y780	保育・教職実践演習(幼)	本村 弥寿子 船勢 肇 織田 芳人 福井 昭史 中村 浩美 荒木 正平 福井 謙一郎 南條 恵 高橋 秀樹	2年次後期	保育に関する知識や技能の更なる修得と向上を目指して、保育現場での実習を振り返り、意見交換やグループ活動などを行う。	保育者と子ども・保護者とのかかわりの重要性を理解し、述べることができる。 様々な分野の保育技術を高める。 より良い指導計画や記録の書き方を理解することができる。 自分の目指す保育者像を描き、意見を述べるすることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20Y790	ゼミナール	織田 芳人 中澤 伸元 松尾 公則 中村 浩美 本村 弥寿子 荒木 正平 福井 謙一郎 南條 恵 船勢 肇 山中 慶子 高橋 秀樹	2年次通年	自らの研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習を行う。その中で直面する様々な問題に適切に対応し、自ら解決できる能力や態度を身につける。	研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習などの活動ができる。 自ら計画を立て、自主的に活動することができる。 グループワークの中でコミュニケーション力を発揮し、責任感を持って協働することができる。 成果を適切な方法で発表することができる。	○	◎	◎	◎	◎	○
20Y800	音楽演習	中澤 伸元 中村 浩美	2年次通年	「音楽」は人の心を動かすたくさんの事を表現できます。その音楽を保育者としてどう捉えるか、また、子ども達にどう伝えて楽しんでもくれるかを、「声」や「発声」や「言葉」や「表現」などを研究します。そして研究・練習を通してメンバーみんなで作り上げた作品を発表する授業。	自分を知り、何を課題として1年間の学びとするかの意識を持つこと。 本気でこの演習に臨み、自らの学びを習得すること。 歌唱における発声法を身に付けられること。 羞恥心を無くし、人の前での演奏・演技を研究し合えること。 グループ内で協調性を持ちながら、意見を出し合い発表に向けての積極性ある活動ができること。	◎	◎	◎	◎	◎	◎